

地方公共団体金融機構 第 7 1 回代表者会議会議録

1 開会の日時及び場所

(1) 開会の日時

令和 5 年 6 月 3 0 日 (金) 1 5 時 0 0 分～1 5 時 3 0 分

(2) 場所

地方公共団体金融機構 第一特別会議室

2 出席委員の氏名

(1) 出席委員

委 員 河野 俊嗣

〃 小幡 純子 (Web 参加)

(2) 欠席委員のうち、地方公共団体金融機構定款第 10 条第 3 項の規定に基づき、書面 表決をした委員の氏名

委 員 牛越 徹

〃 荒木 泰臣

〃 神野 直彦

〃 池田 晃治

3 議事の概要

別紙のとおり

4 議決した事項及び賛否の数

議案 1 令和 4 年度決算

全員賛成

議案 2 会計監査人の選任について

全員賛成

以上

地方公共団体金融機構

代表者会議議長 河野 俊嗣

(別紙) 議事の概要

1 開会

議 長 (挨拶)

理事長 (挨拶)

2 議事

(1) 令和4年度決算

(2) 会計監査人の選任

(3) その他報告事項

事務局 (議案1及び2並びに資料の内容を説明、その他報告事項について報告)

議 長 議案等について質問等あるか。

委 員 厳しい金融市場の中で問題なく業務を遂行していることを評価している。

新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着く一方、ウクライナ危機など新たな問題も発生し先行きが不透明であると認識している。その中で、機構におけるコロナ対応の総括を行い、機構が地方公共団体にどのように貢献できたのかについて、世の中へ発信する必要があると考えている。

また、地方支援業務を充実させていることも評価する。e ラーニングなど、コロナ禍で広まり利便性が再認識されたものについては、今後も活用していく必要がある一方、自治体の現場の視察など対面による対応ニーズにもしっかりと応えていただきたい。

サステナビリティについては、機構が今後も持続可能な体制なのかを投資家に理解してもらうために情報開示を行っていくことは非常に重要だと考えるので、引き続きしっかり対応いただきたい。

理事長 コロナ禍における機構の貢献については、まず減収補てん債や臨時財政対策債について多額を機構が引受け、資金調達の時期を工夫するなどして低利の資金融通という本来の目的を達成できたと考えている。発行体として毎年度の資金調達額に極端な変動があることは望ましくないが、地方団体の要望に応えることを最優先に対応させていただいた。こ

のほか、地方支援業務などで、コロナ禍においてどのように自治体への貢献ができたかについては今後整理していきたい。

コロナ禍において、オンライン形式など地方支援業務の手法などを工夫した結果、セミナー等の受講者は増加した。県庁所在地への交通事情等により、従来の対面実施では参加が難しい方々がいたということが改めて認識されたため、今後も引き続き実施していきたい。他方で、対面での実施が好ましい場面もあり、より効果的な実施方法をその都度検討し、オンライン形式と対面形式を併用しながら対応してまいる。

サステナビリティについて、これまでも行ってきた取組みを世の中にどのように分かりやすく発信していくかが重要だと考えており、今後も様々なご意見をお聞きしながら充実に努めてまいる。

議 長 各種業務について順調かつ堅実に取り組まれていることに改めて感謝申し上げる。

コロナ対応という厳しい状況の中、国からの支援、財政的・金融的な支援等を受けながら自治体として適切な対応を果たすことができたと考えている。一方で、今後の金融情勢への変化に対する準備も必要かと考える。先を見据えて様々なご検討をお願いしたい。

地方支援業務については、e ラーニング等の充実を図るなど、さらなる支援の拡充に取り組んでいるものと認識している。今後もますます支援が深まっていくことを期待している。

議 長 議案1及び議案2について、原案のとおりでよろしいか。
(全員賛成)

議 長 議案1及び議案2について、原案のとおり決定する。

3 閉会

議 長 議事を終了し、閉会する。

以上